



成長期待企業の イキオシ!

成長期待企業とは

中小企業支援ネットひょうごでは、さらなる成長が見込める企業を「成長期待企業」に選定し、複合的な支援をしています。このコーナーでは選定企業が誇る自慢の商品やサービスを紹介します。



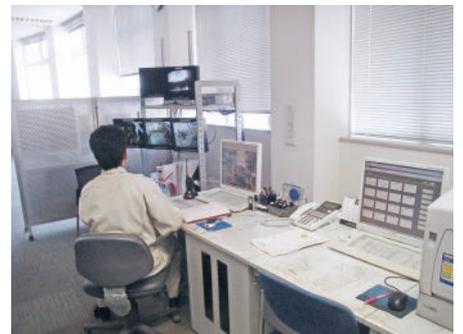
1,100°Cの高温でPCB廃棄物を焼却できる炉

神戸環境クリエート(株)の PCB処理

時代の先を読み 焼却や発電で社会に貢献する

PCB（ポリ塩化ビフェニル）は工業的に優れた特性を持ち、電気機器などに幅広く使われていましたが、有害性があることから1972年に製造中止となりました。国はPCB廃棄物（PCB入りの電気機器など）の早期処理を目的に法整備を行い、PCB廃棄物の保管事業者に対し、2027年3月までの処分を義務付けています。

同社の山本宏光社長は処理件数の増加を見越し、04年にPCB処理が可能な高温焼却炉の建設を決断。12年には国から低濃度PCB処理施設（PCB濃度5,000ppm以下）に認定され、20年には、PCB汚染物の一部については10万



難しい温度管理を担う中央制御室

ppmの濃度まで処理できるようになり、受注を増やしてきました。

PCB廃棄物の処分受け入れが終わる4年後を見据え、現在整備を進めているのが、食品廃棄物をメタン発酵処理し発生するガスで発電するバイオマス発電設備です。(株)神鋼環境ソリューションとの合併会社を22年4月に設立し、24年6月の稼働を目指しています。「脱炭素に向け地域に貢献したい」と同事業を担当する同社企画室の石井章吾さん。その後には、現在の焼却炉を更新し、環境を意識した発電機能付きの焼却炉を新設する計画も温めています。

神戸環境クリエート(株) 神戸市長田区苅藻島町1-1-28
☎078-651-5060 🌐<http://www.kobe-k-create.co.jp>

●設立年:1981年 ●代表取締役:山本宏光
●事業内容:低濃度PCB廃棄物や医療系廃棄物等の中間処理業